

どんな場所でも、
どんな夜でも、
かららず朝は来る

第77回 ヴェネチア国際映画祭3冠受賞
ユニセフ賞|ヤング・シネマ賞 最優秀イタリア映画賞|ソリーノ・ディベルソ賞 最優秀イタリア映画賞

第33回
東京国際映画祭
正式出品

山形国際ドキュメンタリー
映画祭 2021
コンペティション部門正式出品

第25回
カブリハリウッド国際映画祭
ヨーロッパ映画賞

第75回
ナストロ・タルジュント賞
Silver Ribbon of the Year

第24回
オンライン映画批評家協会賞
最優秀非アメリカ作品賞

第17回
セビリヤ・ヨーロッパ映画祭
最優秀撮影賞

『海は燃えている～イタリア最南端の小さな島～』

ジャン・フランコ・ロージ監督最新作

国境の夜想曲

NOTTURNO

イタリア・フランス・ドイツ 2020年 | 104分 | アメリカンピクス (11:185) | アラビア語・クルド語 | 原題: NOTTURNO 配給: ビターズ・エンド
produced by 21UNO FILM, STEMAL ENTERTAINMENT and RAI GINEVRA - in coproduction with LES FILMS ICI, ARTE FRANCE CINEMA, NOMINATION FILMS GmbH,
MIZZ STOCK ENTERTAINMENT - with the participation of DG CINEMA and CEDIDOR, MIPCOM in coproduction with ISTITUTO LUCE CINECITTA'
with the support of EURIMAGES - script by GIANFRANCO ROSI, editing JACopo QUADRI, editing collaboration FARRIZIO FEDERICO,
assistant director GIUSEPPE DEL VOLGO, SALAM SALMAN MEZAAL, HASSAN HAIDAR, GUERRA NAMER, sound design STEFANO GROSSO
produced by DONATELLA PALERMO, GIANFRANCO ROSI, PAOLO DEI BROCCO, SERGE LALOU, CAMILLE LAEMLE, ORWA NYABIA, EVA-MARIA WEERTS
director, cinematographer and sound GIANFRANCO ROSI

戦争に翻弄され、分断された世界

しかしそこには、夜の暗闇から一条の光を待つ人々のささやかな営みがあった



第77回 ヴェネチア国際映画祭3冠受賞

MOSTRA INTERNAZIONALE
DI CINEMA DI VENEZIA
LA BIENNALE DI VENEZIA 2020
Official Selection

ユニセフ賞|ヤング・シネマ賞 最優秀イタリア映画賞|ソッリーボ・ディベルソ賞 最優秀イタリア映画賞

山形国際ドキュメンタリー映画祭2021コンペティション部門正式出品／第25回カブリ・ハリウッド国際映画祭ヨーロッパ映画賞
第75回ナストロ・ダルジェント賞 Silver Ribbon of the Year／第24回オンライン映画批評家協会賞 最優秀非アメリカ作品賞／第17回セビリヤ・ヨーロッパ映画祭 最優秀撮影賞

『国境の夜想曲』の静謐さは、まるで俳句のようだ。
感動し、圧倒された。

アレハンドロ・ゴンサレス・イニャリトゥ(映画監督)

ベルリン、ヴェネチアをドキュメンタリー映画で初めて制した名匠ジャンフランコ・ロージが
美しくも詩情豊かな映像とともに照らし出す、痛みとその先にある希望

『ローマ環状線、めぐりゆく人生たち』でヴェネチア国際映画祭金獅子賞、アカデミー賞長編ドキュメンタリー部門ノミネート作『海は燃えている～イタリア最南端の小さな島～』でベルリン国際映画祭金熊賞とヴェネチアとベルリンをドキュメンタリー映画で初めて制した名匠ジャンフランコ・ロージ。『国境の夜想曲』は第77回ヴェネチア国際映画祭で、ユニセフ賞、ヤングシネマ賞最優秀イタリア映画賞、ソッリーボ・ディベルソ賞最優秀イタリア映画賞の3冠を獲得した。

本作は3年以上の歳月をかけて、イラク、シリア、レバノン、クルディスタンの国境地帯で撮影された。この地域は2001年の9.11米同時多発テロ、2010年のアラブの春に端を発し、2021年8月のアメリカのアフガニスタンからの撤退と共に伴う悲劇に至るまで、現在と地続きで、侵略、圧政、テロリズムが数多くの人々を犠牲にしている。そんな幾多の痛みに満ちた地をロージ監督は通訳を伴わずにひとり旅をし、そこに残された者たちの声に耳を傾け続ける。

戦争で息子を失い哀悼歌を歌う母親たち、ISIS(イスラム国)の侵略による痛みを抱えた子供たち、政治風刺劇を上演する精神病院の患者たち、シリアに連れ去られた娘からの音声メッセージを何度も聞く母親、家族の生活のため夜明け前から猟師をガドする少年……。

インタビューやナレーション、テロップなど通常のドキュメンタリー映画で使用される手法を一切用いず、その場所で暮らす人々や、風景の中にカメラを構え、ただ静かに彼らを見つめる。テレビやインターネットでは決して報道されることのないその地を生きる人々の日々の営み。平和な日常に生きる我々からは想像もできない、夜の闇のような絶望に満ちた生活。その悲しみの中でも輝きを放つ“生”を映し出す映像の詩的な美しさに誰もが圧倒される。



『国境の夜想曲』は光の映画であり、暗闇の映画ではありません。

人々の驚くべき、生きる力を物語っています。この映画は戦争の闇に陥った人間への頌歌です。——ジャンフランコ・ロージ

監督・撮影・音響：ジャンフランコ・ロージ イタリア・フランス・ドイツ | 2020年 | 104分 | アメリカンスピタ(1:1.85) | アラビア語・クルド語 | 原題: NOTTURNO
配給: ヒターズ・エンド ©21 UNO FILM / STEMAL ENTERTAINMENT / LES FILMS D'ICI / ARTE FRANCE CINÉMA / Notturno NATION FILMS GooH / MIZZI STOCK ENTERTAINMENT Goo

www.bitters.co.jp/yasokyoku/

fb.com/GianfrancoRosi.cinema/

[@yasokyoku_movie](https://twitter.com/yasokyoku_movie)

国境の夜想曲

NOTTURNO

2022年2月11日(金祝) 明日は必ず訪れる

特別鑑賞券￥1,500(税込)発売中! (当日一般￥1,800のところ)

劇場窓口でお買い求めの方には海外版ビジュアルポストカードプレゼント! (先着順/限定数)



渋谷・東急本店ヨコ
Bunkamuraル・シネマ
03(3477)9264 www.bunkamura.co.jp

【休館日】シネマサーカス日曜
【休館日】MY Bunkamuraオンラインサービス日曜 12:00終了

有楽町イトシア イトシアプラザ4F
〒100-0014
ヒューマントラストシネマ有楽町
03(6259)8608 tcg.jp